

## 第7回 こども 10 円商店街 実施報告書

NPO 法人 まちなびや

### ◇事業趣旨

子どもが商品販売やサービスを提供する「自分の店」を企画運営する体験を通して、多世代の人々との関わりを学習する。また、大人がお客となってこども店長を応援することで、地域の教育力向上を目指す。

### ◇実施内容

- 1 第1回店長会議 9月24日(日) 9:30~11:30  
静岡市番町市民活動センター 大会議室  
参加者 こども店長40名 保護者約18名 スタッフ7名
  - ・保護者・こども合同ガイダンス
  - ・販売品・提供サービス、店名を決める
  - ・あいさつの練習
  - ・看板(のぼり旗)づくり

- 2 第2回店長会議 10月1日(日) 9:30~11:30  
静岡市番町市民活動センター 大会議室・中会議室  
参加者 こども店長29名 スタッフ4名
  - ・販売リハーサル・売上表記入練習※11:30~14:00まで、昼食後に商品・看板製作  
(希望者16名ほど)

- 3 こども10円商店街本番 10月15日(日) 10:00~12:00・13:00~15:00  
番町市民活動センター 大会議室前 入口スペース  
参加者 こども店長41名 スタッフ7名 しずおか信用金庫10名  
一般来場者約 2,588名
  - ・販売、サービスの提供 → 総売上 19,260円
  - ・両替対応・売上集計(協力:しずおか信用金庫)



<出店一覧（全16店舗）>

販売系	ゲーム・くじ系	サービス系
ももいろざっか ビーズやさん	ペットボトルボウリング ペットボトルストライク えいごのゲームやさん ガチャショップ ミニオンパーク ルカリオからの挑戦状 楽しいわなげやさん ゴーフッシング つりガチャおみくじ たこつりや ワクワクジ！ 運だめしガチャ	まほうにかかった うらない まな&あず (ペイント・ネイル)

4 第3回店長会議 10月29日（日） 9：30～11：30

番町市民活動センター 大会議室

参加者 こども店長 31名 大人スタッフ 6名 寄付先3団体5名

(おしゃべりパンダ 村松様、ママの部活動 金澤様・井上様、静岡クイズ愛好会 久野様)

- ・ 寄付先団体からのプレゼンテーション

→こども店長による投票・寄付金贈呈式

※金額：おしゃべりパンダ 2,810 円、ママの部活動 7,050 円、  
静岡クイズ愛好会 9,400 円)

- ・ 振り返り（3～4店舗ずつのグループで意見交換）
- ・ スペシャル商店街（8店舗出店）



◇広報

- ・ 店長募集チラシ（総計 7,000 部配布）

小学校 5,000 部（葵小 500 部・安西小 360 部・番町小 600 部・  
駒形小 240 部・田町小 330 部・新通小 300 部・中田 750 部  
附属小 600 部・南藁科小 170 部・東豊田小 700 部）

図書館・生涯学習センター・生涯学習交流館・るくる等 600 部

池田屋（助成団体） 200 部

番町市民活動センター 100 部

しずおか信用金庫 500 部 ほか

- ・ 店長募集の案内をコドモンデ 38 号に掲載（30000 部）、市内小中学校に配布

## ◇事業の成果

これまでの実施も含めて、10円商店街の成果として二つ挙げる。一つは、子どもたちが現金で10円均一のオリジナルの店を企画、運営することで、10円でどんなモノが売れるか、サービスが提供できるかを考える大切な機会となったことである。事前2回のワークショップの中で、接客(声だし、挨拶、お辞儀のマナー)、お金の扱い方など、店舗運営のために必要な知識を学んだ。お店づくりでは、グループの中で店の内容や手順などを話し合い、リハーサル等行い準備を重ねた。本番では客を積極的に呼び込むこともでき、ワークショップの成果が発揮された。さらに、最後の店長会議で行ったスペシャル商店街で、本番忙しかった店長たちは、お客となってゲームや買い物を楽しむことができた。お店を開いた店長たちは本番を振り返りながら楽しく接客を行っていた。このように10円商店街をお客の立場からも体験するということが、最後の振り返り活動として有意義であったと考える。

もう一つは、売上の寄付行為である。寄付先候補団体のプレゼンテーションを聞き、子どもたちが意味あると感じるところに一票を投じるという仕組みである。自分たちが暮らす地域の中で、小さいけれど困っている人たちの役に立つ活動をしている団体に対して、子どもたちは投票先を真剣に悩み考え、決めることができた。子どもたちの感想の中に「自分たちがかせいだお金を、いろいろな団体にきふできて、よかったです」とあったように、自分で稼いだお金の寄付先を決定するという行為は、誰かの役に立つことを意識する貴重な体験となったと考える。

さらに、第7回実施の成果として二つ挙げる。一つは、子どもたちの満足度が高かったことである。子どもたちには、店長会議各回と本番の終了直後、ふり返しシートを記入してもらったが、「今日の10円商店街本番はどうだったかな？」という質問に対して、85%のこども店長が「とてもたのしかった」と回答した。前回同様、店長会議にてこども店長が主体的に活動できる場面を多く設け、本番でお店をやり遂げたことによって、達成感が大きかったのではないかと考える。なお、今回の売上額は、これまで実施してきたこれまで10円商店街の中でも最高額であった。

もう一つは、こども店長たちのさらなる工夫や挑戦が見られたことである。今回は全体の75%がゲームのお店であったが、ゲームの内容や景品の工夫によって、同じものが並ぶことはなかった。その中には、英語を使ったゲームを実施するお店など、これまでにないものに挑戦するこども店長もいた。さらに、参加回数を重ねることによって、さまざまな工夫を加えている店長も見られた。過去7回参加していたこども店長は、これまでウールレターなどの雑貨屋を行っていたが、今回は空気砲を使ったゲームを実施し、紙製のハンドスピナーなど、クオリティの高い景品を用意していた。最後の店長会議の感想においても「お店のせっきゃくって楽しい!!」とあることから、10円商店街を通して、接客の楽しさを学んだことが考えられる。

また、10円商店街終了後に保護者にもアンケートを実施したが、本事業への満足度も高く、学校では見ることができない子どもたちのいきいきとした姿に喜ぶ声が多数寄せられた。回答者全員が「お子様をまた『10円商店街』に参加させたい」に肯定的な回答を示した。

## ◇実施体制

主催：静岡市葵生涯学習センター、NPO 法人まちなびや

協力：しずおか信用金庫、千代田スクール、静岡大学教育学部塩田研究室

◇後援 静岡市教育委員会


## ◇大人スタッフ

板倉りえ子、多々良直樹、田中知子、戸谷雄一、廣瀬拓哉、村田優、弓削幸恵、  
勝村明、金澤朱美 計9名

しずおか信用金庫 10名



本事業は、池田屋「子ども思いの森 生きる力ファンド」の助成によって実施しました。

子ども思いの森  池田屋